

# 平成30年度 事業報告

社会福祉法人 八幡福祉協会

## 全体事項

昨年は、介護・診療報酬の同時改定が行われ、医療と介護の連携や自立支援・重度化防止の推進などに重点を置いて、介護報酬全体で見ると+0.54%となりました。しかし、通所介護においては今回も実質マイナス改定となりました。

施策の方向性自体は施設から在宅、地域へという従来のものから大きな変更はなく、団塊の世代が、要介護になる確率が高まる後期高齢者（75歳以上）に移行してくる2025年に向けて、地域包括ケアシステムの構築が大きな課題となります。

当法人におきましては、昨年は介護予防の拠点として「よりば路」を建設し、地域の高齢者の居場所となる、新たな通所介護事業にも取り組みました。

また、老朽化した施設設備について、改修計画に基づき、10月から空調設備等を更新する第1期の改修工事を実施しました。工事期間中は入居者・利用者の皆様にはご迷惑をお掛けしましたが事故もなく完了しました。

今後も入居者・利用者の皆様に満足いただける介護サービスを提供するため、介護の質の向上、また、快適な住環境を提供できるように計画的に修繕事業を実施し、皆様から笑顔が溢れ、安心して生活していただけるよう、また、地域の皆様に必要とされる社会福祉法人・介護保険施設となれるよう努力して参ります。

## 共通事項

### 1、社会福祉法人としての地域貢献事業等

当法人を地域の皆様に知っていただき、気軽に相談等ができる関係性を構築するために、施設側が地域に出ていくことと同時に地域の皆様が施設に足を運んでもらえるよう取り組みました。

地域の皆様が気軽に相談等できるように、高齢者等が集うサロンへは定期的に出向き、皆様と関わらせていただく中で、相談やアドバイス等を専門職の立場から行いました。

地域の皆様に足を運んでいただく取り組みとして、「八勝館まつり」の開催や「施設

見学会」、また、よれば路を活用し、昼食をメインとしてランチサロンを開催しました。

平成 29 年度より子供の居場所作りを目的に取り組んでおります京都地域福祉創生事業(なかよしひろば)も継続して実施しました。昨年度は学生ボランティア(大阪歯科大学)も定期的に参加していただき内容も充実してきました。月 1 回の開催ですが、子供たちも楽しんで参加してくれており、今後も継続して取り組んでまいります。

## 2、人材定着・確保への取り組み

法人の取り組みとしては、職場環境の改善や職員のモチベーションを向上させるための希望を聞いたところ、職員同士で話ができる場が少ないとの声がありました。この為、「気づけば笑顔になれる場所づくり」活動実施要綱を新たに制定し、会議等で職員が集まった機会を活用し、日常的なことを気軽に話ができるように懇親会に係る費用を一部補助することとしました。これら活動を通じて職員間のコミュニケーションを深める機会が増えるように取り組んでまいります。

適切な介護サービスの提供を行うためには、職員を離職させない取り組みが重要です。特に新人職員は不安な気持ちにならないようにマンツーマン指導を徹底し、現場に早く馴染んでもらい、チームの一員と感じてもらうことに努めました。同じ職員が指導することが望ましいが、現場は変則勤務であるため担当指導者が全て担当することが難しいため「振り返りノート」を活用し、新人職員の疑問や不安に答えるとともに、担当職員が指導した内容を記録し指導職員同士の情報共有に取り組みました。また、職員の育成を目的に外部の専門家による新人職員面談、担当指導者の面談を実施し、育成・指導の両面からサポートする機会を設けました。

今後も職員が当法人で働き続けたいと思える取り組みを積極的に実施していきます。

## 3、設備関係の大規模修繕事業

大規模改修工事としては、新館空調設備の劣化に伴い GHP から電気空調への改修を

行なうと共に、本館共用エリアの冷暖房補完を目的とした外調機器の新設を行いました。

新館の環境整備のため工事に合わせて居室床の改修を同時に行ない、今後の本館空調改修に向けて良い参考となりました。

空調工事と併せて新館にホームエレベータを増設したことにより、特養・ショートステイ職員及び利用者の利便性を格段に向上することが出来ました。また、このエレベーターを本館エレベーター改修時の補完的な運搬手段として使える目処が立った為、本館エレベーター改修に向けて業者と現行消費税率による改修契約を締結しました。

急を要する設備更新については一段落した為、中長期的改修について優先順位の再検討を行ない計画的に進めて参ります。

#### 4、介護サービスの質の向上に向けての取り組み

入居者・利用者の皆様が楽しく・笑顔で過ごすことができるように、利用者一人ひとりの生活状況や心身の状況を職員がしっかり把握し、情報共有をすることが大切です。施設部門では、適切なケアに繋げていくために入居者個々の食事や排泄等の状況につて 24 時間を通して詳細に記録する情報共有シートを活用し、集団ケアではなく個々の生活状況を見直し、情報の一元化・情報の共有・すべきケアを具体的に言語化・ケアの標準化に取り組みました。

在宅部門では、現在行っているサービスが適正であるかを検証するため、外部機関による介護サービス第三者評価を受診し、業務等で改善できるところは早急に改善を行いサービスの質の向上に努めました。

## 役員会等の状況

### ① 評議員会の開催状況

開催年月日	出席者数	審議内容
平成30年6月14日	6名 (監事2名)	① 平成29年度事業報告(案)について ② 平成29年度事業収支決算(案)について ③ 理事の選任について

### ② 理事会の開催状況

開催年月日	出席者数	審議内容
平成30年5月29日	5名 (監事2名)	① 平成29年度事業報告(案)について ② 平成29年度収支決算(案)について ③ 給与退職金規定の一部改正(案)について ④ 理事候補者の選任について ⑤ 評議員選任・解任委員会委員の選任について ⑥ 平成30年度の昇給率及び賞与支給月等(案)について
平成30年7月18日	6名 (監事2名)	① 空調改修工事等に係る請負指名業者について ② 平成30年度収支予算補正(案)について ③ 京都八勝館(介護予防)短期入所生活介護事業所運営規程の一部改正(案)について
平成30年12月12日	5名 (監事2名)	① 京都八勝館(介護予防)短期入所生活介護事業所運営規程の一部改正(案)について ② 報告事項 平成30年度中間決算報告等
平成31年1月23日	6名 (監事2名)	① 管理者等の選任について ② 給与・退職金規程の一部改正(案)について

平成 31 年 3 月 24 日	5 名 (監事 2 名)	① 平成 30 年度収支予算補正 (案) について ② 平成 31 年度事業計画 (案) について ③ 平成 31 年度収支予算 (案) について ④ 社会福祉法人八幡福祉協会定款の一部改正 (案) について ⑤ 報告事項
------------------	-----------------	---

### ③ 監事監査の実施状況

平成 30 年 5 月 15 日、監事 2 名による監査を実施していただきました。

その結果、事業報告書等は、関連する法令及び通知に従い、当法人の事業の執行状況を正しく示し、適切に処理されていると認めていただきました。

### その他の状況

#### ① 衛生教育について

年 月 日	参加人数	内容
平成 30 年 9 月 19 日	22 名	内臓の病気について
平成 31 年 3 月 20 日	20 名	アレルギーについて

#### ② 施設内研修について

年 月 日	参加人数	内容
平成 30 年 6 月 26 日	27 名	人権研修 (身体拘束、虐待に関する研修)

#### ③ 職員健康診断

年 月 日	検診内容	受診者数
平成 30 年 10 月 17 日	職員健康診断 (腰痛検診含む) ※当日未受診者は、医療機関にて実施	52 名

平成 30 年 11 月 22 日～12 月 17 日	職員インフルエンザ予防接種	62 名
平成 31 年 3 月 5 日～3 月 10 日	職員健康診断（夜勤業務実施者）	23 名
平成 31 年 3 月 7 日	腰痛検診	33 名

#### ④ 消防訓練の実施状況

年 月 日	時 間	備 考
平成 30 年 10 月 23 日	14 : 30 ~	昼間訓練（消防署立会い）
平成 31 年 3 月 22 日	14 : 30 ~	夜間想定訓練（自主訓練）

#### ⑤ 研修（実習）受入状況

平成 30 年度の介護福祉士実習として、京都八幡高校介護福祉科（1～3 年生の計 6 名）、管理栄養士実習として 11 月 1 日から 6 日間、大和学園の学生を 1 名、介護支援専門員実務研修を 1 名受け入れました。

#### ⑥ その他

	開催数	延参加者
なかよしひろば	11 回	参加者 101 名 学生ボランティア 39 名
ランチサロン	3 回	参加者 19 名
施設見学会	1 回	参加者 7 名

### 各事業所の事業報告

#### 施設サービス事業所

##### 特別養護老人ホーム

入居者の皆様により良い介護サービスを提供することを目的に取り組んでいるグループ

ケアについては、情報共有シートの活用や毎日の短時間ミーティングなど入居者の状況の変化を職員間で情報共有することに積極的に取り組んだことにより、日勤帯・夜勤帯・引継ぎ事項・個人のケア記録等、各グループの記録が充実してきました。この為、入居者一人ひとりに適したケアを提供できるケースが増えてきました。また、新館にエレベーターを設置したことにより、ショートステイと2階新館の行き来がしやすくなったので、職員の配置や業務の見直しを行い、当施設のできるグループケアの形を確立し、入居者の皆様に満足いただけるサービス提供に努めます。

レクリエーションの取り組みでは、買い物や飲食を目的とした外出を計画しておりましたが同行者の確保や感染症の問題等で実施には至りませんでした。館内のレクリエーションでは、皆様に楽しんでいただく企画として「居酒屋」や「夜桜花見」などを開催しました。

入居者の楽しみである食に関しては、個々にあった食事形態で提供するため、介護・看護・調理・栄養の専門職が連携し、大きさ・やわらかさ・分量をそれぞれの入居者に合った形で提供し、一人ひとりが喜んで食べていただけるように創意工夫しました。

感染症を防ぐ取り組みとして、入居者・職員のインフルエンザ予防接種、来館者を含めマスクの着用及び手指消毒の徹底を図りました。流行期に入居者・職員からインフルエンザ罹患患者が出たため、嘱託医と協議し、罹患していない入居者・職員に予防薬を処方してもらい拡大防止に努めました。また、ノロウイルス等の感染症防止を目的に、排泄マニュアルの見直し、職員各自が消毒液を携帯して1つの介助に対して必ず1回消毒を行うことも徹底しました。

#### 特養入居者等の状況

##### ① 退所状況

年 月 日 (現在)	死亡	解約の申出	合 計
平成 30 年 3 月 31 日	13 人	7 人	20 人
平成 31 年 3 月 31 日	13 人	2 人	15 人



② 要介護度の状況

年 月 日 (現在)	要介護度					平均要介護度
	1	2	3	4	5	
平成 30 年 3 月 31 日	1 人	8 人	17 人	23 人	20 人	3.76
平成 31 年 3 月 31 日	1 人	7 人	19 人	20 人	20 人	3.76

③ 利用実績

年 度	延入居者数	一日平均入居者数	備 考
29	23,814人	65.2人	稼働率 93.2%
30	24,329人	66.6人	稼働率 95.2%

④ 入居者検診状況

年 月 日	検診内容	受診者数
平成 30 年 10 月 9 日	胸部レントゲン撮影 在館 68名	66名
平成 30 年 12 月 6 日～ 平成 30 年 12 月 28 日	入居者インフルエンザ予防接種 ※入院中の入所者については、入院 先の病院で接種されています。	62名

⑤ 行事等実施状況

開催日	行事名	開催日	行事名
8月9日	花火大会	12月18日	年忘れ会
8月23日	夏祭り	12月27日	もちつき大会
10月21日	運動会	12月29日	居酒屋

(介護予防) 短期入所生活介護事業所[ショートステイ]

利用者が積極的に参加できるプログラムとして、日々の出来事や行事の写真をまとめたショートステイ新聞を毎月職員と利用者で作成し、その新聞を1年通してホールに

掲示しました。そのことにより、利用者と職員との関わる時間が増え、利用者の変化や在宅での生活状況を自らお話ししていただけたりし、目標である利用者個々に応じたケアの提供を実現するためきっかけとなりました。

利用者は新聞を作るという目標、また、自分自身が関わった新聞を見て当時の出来事を振り返ることができ刺激なると喜ばれていました。

下期は改修工事の関係から、ショートステイのベッドを一部特養入居者用に用途変更したため、利用者が減少しました。しかし、利用者が少ない分、個々と関わる時間が増え、利用者の新たな一面が発見できましたので今後の適切なケア提供に繋げていけるように取り組んでいきます。

改修工事によりショートステイスペースと特養スペースが行き来できるエレベーターが設置されたことにより、1、2階へ移動が容易になったため、利用者、入居者の皆様が楽しんで過ごせるよう企画や用途変更等も含め検討して参ります。

また、社会福祉法人として市からの緊急入所の依頼にもできる限り応じて、身寄りのない利用者に対しては施設入所までの支援を行いました。

ショートステイ年間利用実績（短期入所・介護予防短期入所）定員 14 名

年 度	年 間	月平均	一日平均	稼働率
29年度	3,724人	310.3人	10.2人	72.8%
30年度	2,881人	240.1人	7.9人	56.3%

※平成30年10月～平成31年1月末までは改修工事に伴い定員14名を6名に変更

### （予防）通所介護事業所[デイサービス]

利用者個々の身体機能を看護師及び介護職員がしっかり把握を行い、運動機能の維持・向上を念頭におきながら、室内での平行棒による歩行訓練、階段昇降、屋外での歩行訓練、フットマッサージなど利用者の身体レベルに合わせた内容でリハビリを実施しました。また、フットマッサージ器（ドクターメドマー）を新たに購入し、利用者が

リラックスしていただける環境を整えました。

レクリエーションの充実については、体操や手足を動かすゲームをはじめ、ホワイトボードを使用した座学や個々で取り組める漢字や計算ドリル等の脳トレ、手芸、小物づくり等の創作レク、食後のピアノ生演奏による音楽療法を含め、一日を通じて利用者が楽しく、飽きの来ないレクリエーションを実施しました。その他、夏祭りやクリスマス会、季節の外出など年間を通じての行事にも力を入れ、利用者に楽しんでいただけるような取り組みも積極的に行いました。

サービス利用時の様子や体調面等を職員や看護師等がふれあいノート（連絡帳）へ丁寧にわかりやすく記入し、また利用中に特変等があれば、その状況についてご家族や関係機関等へ速やかに報告・連絡を行う等、利用者・ご家族が安心してデイサービスを利用できるよう日々取り組みました。

#### 利用実績

年 度	要介護 1~5	要支援 1, 2	一日平均	備 考
29年度	5,744人	440人	20.0人	
30年度	5,803人	537人	20.8人	

#### 外出行事の状況

実 施 日	目 的	行 き 先	参加人数
平成30年3月27日~4月3日	花見外出（桜）	渚水未来センター	29名
平成30年11月19日~11月30日	紅葉外出	善法律寺	37名

#### 通所型B事業（ぽかぽか庵）

上記事業は、要支援者等を中心とする自主的な通いの場づくりとして、体操、運動等の活動、趣味活動等を通じた日中の居場所づくり、定期的な交流会、サロン、会食等

を行います。当法人では昨年11月より毎週火曜日に「よりば路」を使ってスタートさせました。事業のプログラムとしては、健康チェック、体操等を自主的に行ってもらい、その後、当法人が提供する昼食を参加者・ボランティアとともに話ししながら食べる内容となっております。

今後は開催する曜日を増やし、地域の高齢者の楽しみの場、そして、居場所として定着するよう努めてまいります。

※平成30年11月より開始

年 度	開催回数	利用延べ人数	1回平均人数
30年度	19回	66人	3.4人

## 在宅介護支援センター

地域で開催されているサロンへ毎月定期的に参加することで、地域住民の方々や学区福祉委員との交流を図り、地域のニーズ把握等に努めました。相談については、情報提供及び必要に応じて地域包括支援センター及び関係機関と連携を図り適切に対応しました。

八幡市の委託事業である「はつらつ健康教室」は計24回実施し、閉じこもり予防を目的として、利用者に楽しんで参加していただける企画を行いました。

八幡市からの委託業務の実施状況は下記の通りです。

### (1) 相談業務実施状況

年 度	年 間	月平均	備考
29年度	53件	4.42件	
30年度	47件	3.91件	

### (2) 高齢者の実態把握等実施状況

(件)

年 度	実態把握件数	福祉用具購入支援数	住宅改修支援数
29年度	0件	8件	14件
30年度	6件	9件	24件

(3) 配食サービスの実施状況

八幡市

年 度	人数	延べ食数
29年度	249人	3,574食
30年度	200人	3,007食

当館独自 ※平成28年10月より開始

年 度	人数	延べ食数
29年度	48人	506食
30年度	68人	900食

(4) 介護予防事業開催状況（はつらつ健康教室）

年 度	開催回数	利用延べ人数	1回平均人数
29年度	24回	372人	15.5人
30年度	24回	299人	12.4人

## 居宅介護支援事業所

ご本人やご家族等からの依頼や病院・地域包括支援センターからの紹介を柔軟に受け入れることで新規プランの獲得に努めました。また、他事業所、他職種と連携を密にすることで、利用者へ適切なサービスが提供できるよう調整を行いました。

介護支援専門員として専門研修及び八幡市老人福祉施設連絡協議会の開催する研修会や地域ケア会議等に積極的に参加し、情報の収集や自己研鑽に努めました。また、介護支援専門員実務研修の実習生を受け入れにより、当事業所の職員のスキル向上につな

がりました。

在宅介護支援センターから利用者との関わりを継続することでご本人、ご家族の状況把握ができ、必要性が生じた時には迅速に介護サービスへつなげることができました。

#### ケアプラン作成、代行申請状況

年度	ケアプラン		代行申請		備 考
	件数	月平均	件数	月平均	
29年度	677	56.4	30	2.5	更新・区分変更・新規申請
30年度	664	55.3	24	2.0	更新・区分変更・新規申請

#### 予防ケアプラン作成

年度	ケアプラン	
	件数	月平均
29年度	31	2.5
30年度	50	4.1

## 調理部門

食中毒予防のために食材の管理を徹底し、食器等の漂白をこまめに行う等、食事提供の安全性を重視することに積極的に取り組みました。また、昨年度は当法人が創立30周年を迎えたことを記念し、入居者の皆様に喜んでいただくために特別食を企画したり、新規事業のぽかぽか庵の利用者に食べて頂く食事などに取り組みました。

子供の居場所作りとして実施している「なかよしひろば」では、食事の提供だけではなく、夕食の時間に調理室職員も参加し、子供たちと一緒に食事し、食についての話や次回の夕食のメニューを一緒に考えるなど、調理室としてできる取り組みを行いました。

8 理事・監事・評議員等名簿

(平成31年3月31日現在)

役職名	氏名	就任年月日
理事長・施設長	遠州 伸高	平成29年6月27日
業務執行理事	藤井 さよ子	〃
〃	中川 晶勝	〃
理事	本郷 俊明	〃
〃	佐野 良夫	〃
〃	河本 直樹	平成30年6月14日

役職名	氏名	就任年月日
監事	北村 章	平成29年6月27日
〃	大高 俊生	〃

役職名	氏名	就任年月日 ※任期4年
評議員	松崎 祥三	平成29年4月1日
〃	波田 容子	〃
〃	藤作 実	〃
〃	山本 政名	〃
〃	遊佐 勝彦	〃
〃	松田 千登勢	〃
〃	岩田 晃一	〃

